



トークンレス・ワンタイムパスワード

PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v4.3.2)

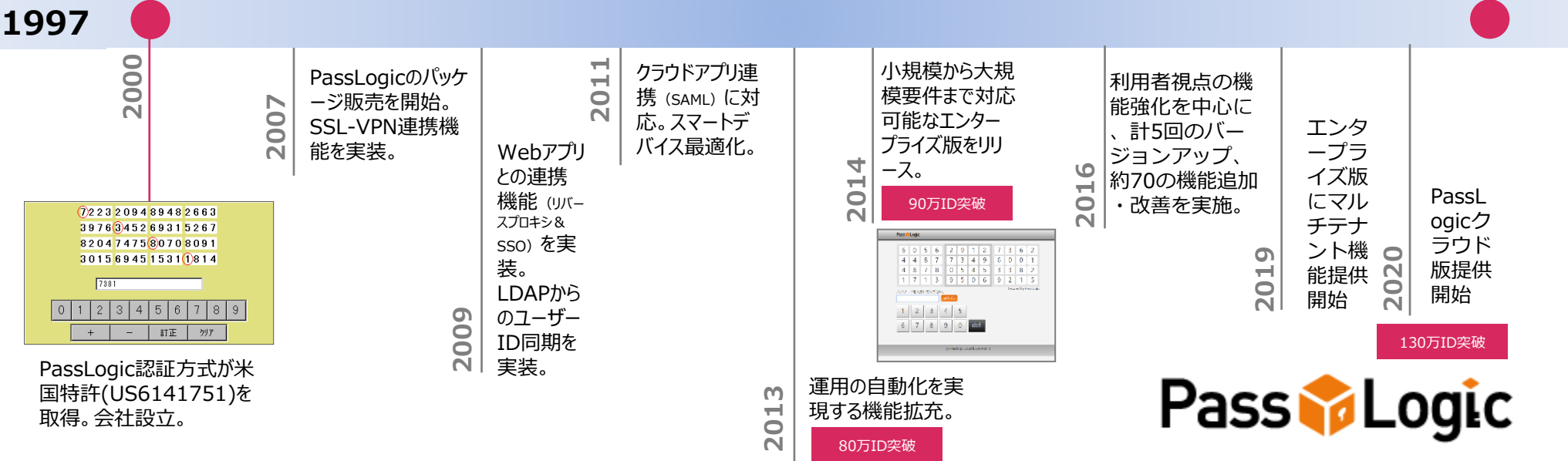
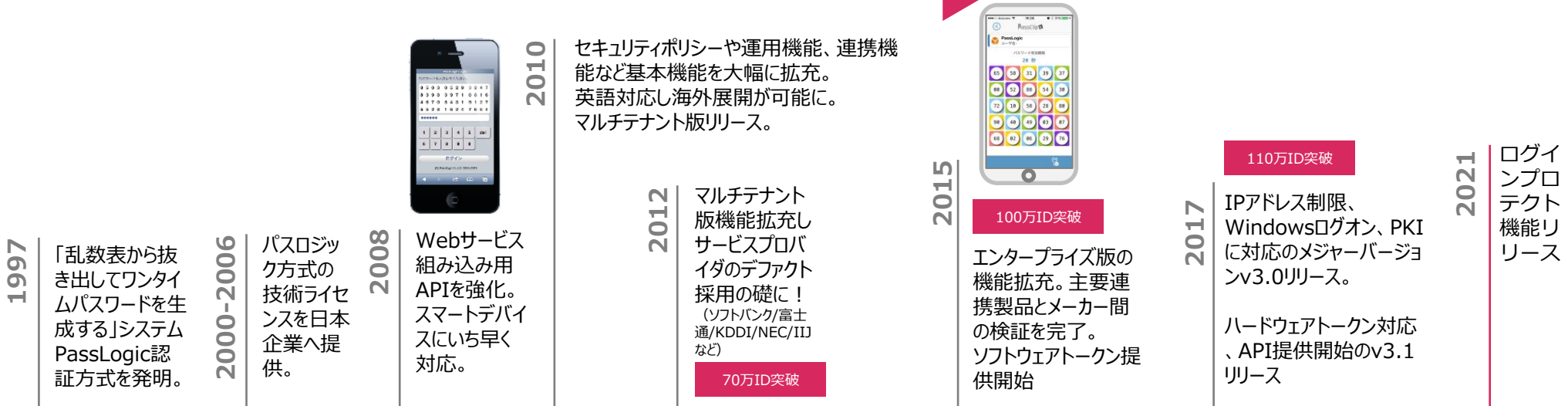
2022/1/18



1. リリースノート
2. ピックアップ

PassLogicの歩み

マトリックス専用から「多要素認証プラットフォーム」へ高機能化！



V3系のライフサイクルについて

2019年3月のPassLogic Ent v4系のリリースに伴い、v3系のライフサイクルが下記の通り確定しております。

対象バージョン	EoS	EoL
PassLogic エンタープライズ版 v4系	v5.0の提供開始後に日時決定	EoSから5年後
PassLogic エンタープライズ版 v3系	2019/8/31	2024/8/31
PassLogic エンタープライズ版 v2系	2017/11/18	2022/11/18
PassLogic エンタープライズ版 v1系	2015/10/15	2020/10/15（終了）

メジャーバージョンアップ版は年間保守サポートサービスのなかでソフトウェアプログラムをご提供します。

EoS : End of Sales（販売終了）
EoL : End of Life（サポート終了）

リリースノート

リリースノート

pickup

左記pickupラベルの項目は本資料内で概要をご紹介します。

【新規機能】

認証時のセキュリティを高めるパスロジ社オリジナル機能「ログインプロテクト」を追加しました pickup

【機能拡張/改善】

PassLogic for WindowsDesktopがWindows11に対応しました pickup

LDAP連携/同期のユーザIDを小文字として扱うオプション設定を追加しました pickup

LDAP同期が異常終了すると出力される作業ファイルを自動的に削除するようにしました

パスワードリマインダー利用時の、メールアドレスを小文字に変換して処理するオプション機能を追加しました

SAML署名アルゴリズムとしてSHA256が選択できるようになりました

SAML RelayStateにURL以外のパラメータが指定できるようになりました

x.509証明書でないものをSAML用の証明書としてPassLogicに登録しようとした場合のPHP warningを抑制しました

SSO用のアプリケーションメニュー画面において、同じタブ内でアプリケーション画面を開くためのオプション設定を追加しました

リバースプロキシのSSO設定において、Storefrontとの連携用モジュールが選択できるようになりました

ユーザ名に「0E」で始まる文字列が設定できるようになりました

PKI設定のルート証明書が有効期間外の場合に、注意を促すよう管理画面TOPに表示される警告メッセージに背景色を設定しました

PKI設定のルート証明書が未設定の場合の一括発行エラーメッセージを改善しました

OTPトークンをPassLogicに登録する画面の「(*) 必須項目」ラベルの位置を改善しました

RADIUSクライアント登録画面における「識別名」の文字種チェックを改善しました

4.3.1→4.3.2アップデート用のbackup converterを同梱しました

冗長化のリストアにおいて、対抗サーバにIPアドレス情報をリストアしないためのオプション設定を追加しました pickup



リリースノート

pickup

左記pickupラベルの項目は本資料内で概要をご紹介します。

【不具合修正】

クライアント証明書の一括発行画面で、英語のメッセージが表示される不具合を修正

LDAP認証連携+PassClip初回ログイン時のエラーメッセージが英語で表示される不具合を修正

ユーザ通知にてCC,BCCで複数宛先に送信するとエラーとなる不具合を修正

マルチテナントモードでインストールした環境で、初回ログイン時の証明書ダウンロードの際に表示されるメールテンプレートにおいて、置換タグ（%TENANT%）が正しく変換されない不具合を修正

LDAP ID 同期の「デフォルト値に指定したポリシーの共通初期パターンを設定する」をONにした状態で、1001件以上のユーザデータを同期すると1001件目以降のユーザ登録に失敗する不具合の修正

LDAP ID 同期処理において、特定条件化で中断した場合に、しばらく待たないと再実行できない不具合を修正

冗長化構成において、ポリシー設定をサブサーバで変更した場合に、メインサーバ側の定期実行の設定が更新されない場合がある不具合を修正

【仕様変更】

リバースプロキシ経由のアプリケーションURLが指定された状態でPassLogic認証に成功すると、指定したURLに遷移できるようになりました

pickup



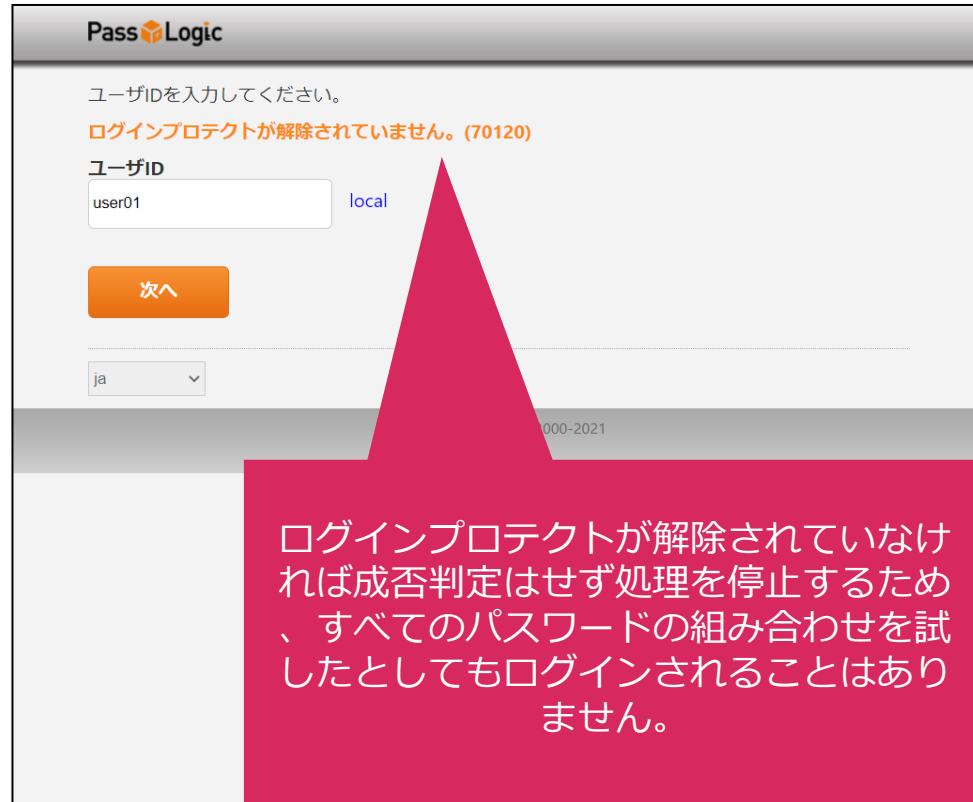


ピックアップ

パスロジ社オリジナル機能「ログインプロテクト」を追加

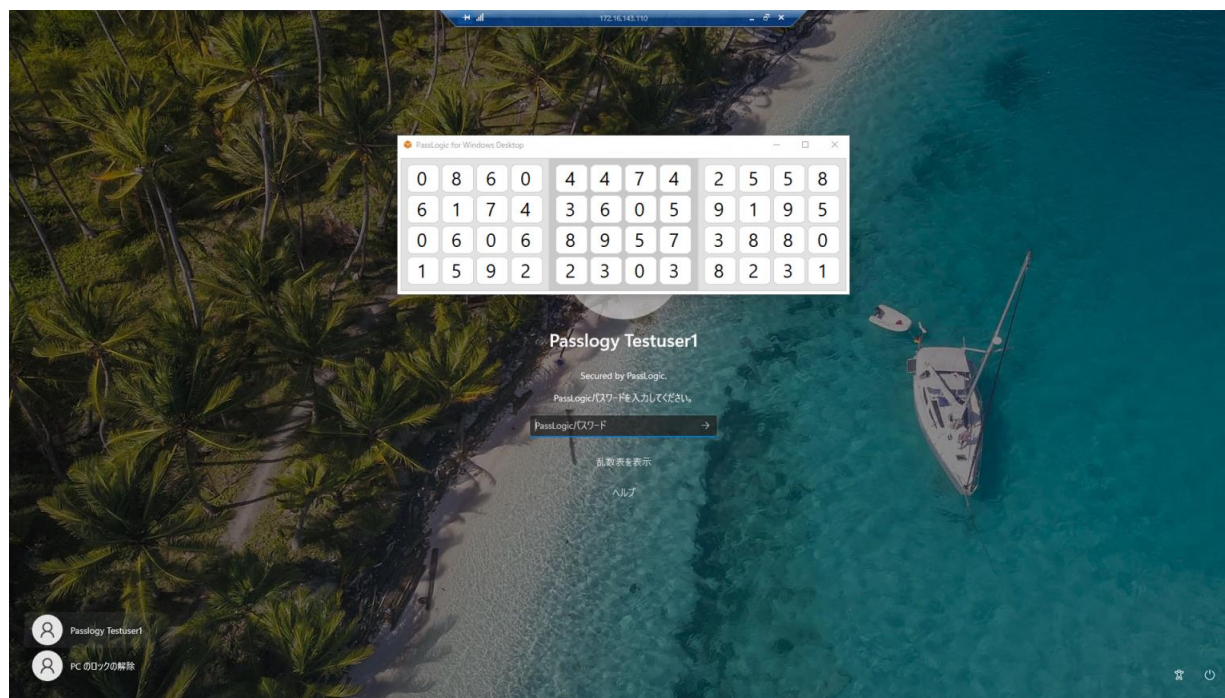
トークンレス・ワンタイムパスワード
PassLogic

ログインプロテクトがかかっている間は、パスワードの正誤判定をせずに、ログイン処理を中断します。したがって、**あらゆるパスワード攻撃を無効化**することができます。



ログインプロテクトは、PassLogic for WindowsDesktopでもご利用いただけます。

外出先への持ち出しや、友人や家族が出入りする自宅にあるパソコンには高いセキュリティが求められます。PassLogic認証サーバーはWindowsに対応しており、パソコンの入りを容易にワンタイムパスワード化できます。



※ Credential Provider の仕組みを使用して実装しています。

Windowsは大文字と小文字を区別しないOSです。

例えば、**user01**、**USER01**、**User01** はいずれも同じIDとして扱われます。
一方、PassLogicは、大文字と小文字を区別します。それによって生じる問題を吸収するためのオプション設定です。

The image shows a screenshot of the 'LDAPサーバ接続設定' (LDAP Server Connection Settings) form. The form contains several fields: 'ドメイン名' (Domain Name) with the value 'example', 'LDAPタイプ' (LDAP Type) set to 'Active Directory', 'サーバ1' (Server 1), 'サーバ2' (Server 2) with a note 'レプリケーションサーバ' (Replication Server), 'ポート番号' (Port Number), '暗号化 (LDAPS)' (Encryption (LDAPS)) checkbox, 'バインドDN' (Bind DN), 'バインドパスワード' (Bind Password), 'ツリートップのDN' (Tree Top DN), and '検索フィルタ' (Search Filter). At the bottom, there is a checkbox labeled 'ユーザIDを小文字に変換して扱う' (Convert user ID to lowercase and handle), which is checked and highlighted with a red rectangle.

LDAPサーバ接続設定	
ドメイン名	example このドメイン名でPassLogicにユーザを取り込みます。
LDAPタイプ	Active Directory ▼
サーバ1	(*)
サーバ2	レプリケーションサーバ
ポート番号	
暗号化 (LDAPS)	☐
バインドDN	(*)
バインドパスワード	(*)
ツリートップのDN	(*)
検索フィルタ	(*)
ユーザIDを小文字に変換して扱う ☒	

このドメインのユーザIDを強制的に小文字として扱います。新規登録時、ログイン時、webトークン利用時、パスワードリマイnder利用時、Windowsログオン利用時にユーザIDを大文字で入力しても小文字として扱います。

※AD (Windows) は、大文字と小文字を区別しないため、小文字に変換されたユーザIDで問い合わせされた場合も問題なく連動いたします。

以下のリストアモードが新たに加わります。これにより、冗長化されたPassLogicの移設が容易になります。

リストアモード	概要
データベースおよびサーバ固有情報をリストア	全てのデータベースとサーバ固有情報が置き換わります
データベース情報をリストア	全てのデータベースのみ置き換わります
サーバ固有情報をリストア	サーバ固有情報のみ置き換わります
NEW データベースおよびサーバ固有情報をリストア※ 冗長化設定を除く	全てのデータベースと以下を除くサーバ固有情報が置き換わります。 除かれる設定は、冗長化構成の各認証サーバのIPアドレス設定ファイル （/opt/passlogic/data/conf/redundant.conf）です。 ※冗長化構成時のみ、この項目は表示されます。

リバースプロキシ経由のアプリケーションURLが指定された状態でPassLogic認証に成功すると、指定したURLに遷移できるようになりました

これまでは以下のURLからログインを開始する必要がありました。

`https://{PassLogic}/ui/`

今回の仕様変更により、下記のようなリバースプロキシ経由のURLからログインを開始できます。

`https://{PassLogic}/{リバプロ仮想パス}/xxxx.php`

なお、アプリケーションの作りによっては、本動作ができない場合もありますので利用される場合は、あらかじめお客様環境で動作をご確認ください。